

今年の初任者

2022. 5. 12

昨年度は、SS先生という初任者がいた。彼は、この1年間で学んだことを礎にして、4月から新たな活躍を見せてくれている。野田中学校には今年度も初任者がやってきた。YT先生である。1年生の担任をしている。彼とは面識があった。

以前、私は金山町の小学校に勤務していたことがある。あるとき、地元の高校生がALTの授業を見せてほしいと私の小学校にやってきたことがある。彼は、この小学校の卒業生であり、中学校、高校とずっと地元で成長してきた若者である。

そんな熱心なすばらしい高校生がいるのかと、大歓迎で受け入れた記憶がある。将来は、英語の先生を目指しているとのことだった。「がんばれよ。金山町から大きく羽ばたいて、福島県の教員として活躍してくれ」と激励したように思う。

その高校生は、その後どうなったのか。大学には進学したのだろうか。英語の教員免許は取得したのだろうか。教員採用試験には合格できたのだろうか。今、彼は、野田中学校で立派に初任者の英語教員として活躍している。

これは、偶然だろうか。いや必然であろう。何かの縁というレベルではなく、運命いや宿命なのかもしれない。こんなストーリーがあるだろうか。よくできたドラマではないのだから。私としては、金山町から彼を預かっている感覚である。彼の実家もわかる。親御さんもわかる。

最初は、彼の名前に反応した。何となく高校生だった彼の名前を記憶していた。でも、まさかそんなことはないだろうと思っていた。あまりにも話が出来すぎである。電話で話した。間違いなく彼だった。現実には出来すぎた話となった。

彼を昨年度のSS先生と同じように、立派な教員として若者として育てることが、私にとっての金山町への恩返しだと思っている。一月以上が経過したが、彼は毎日必死である。無我夢中でがんばってきたことだろう。疲れを感じる余裕もないだろう。このまま夏休みまで突っ走るしかない。

話はこれで終わらない。4月から新しい栄養技師がやってきた。金山町の金山中学校からである。これも偶然ではないだろう。こちらも、野田中学校で力をつけてもらい、立派な栄養技師として活躍してもらおうようにしなければならない。これは私の責務である。

そして、YT先生には、夏休みになったら、ゆっくりと金山町で充電してきてほしい。おいしい水、おいしい空気、温かな人たち、どれもが彼を育ててくれたものであり、彼の力の源になるものである。YT先生、まずは1学期を乗り切ろう。みんなで応援している。